

# 科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語					学期	曜日	校時
英語名	German							
担当 教官名	目正勝	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期 後期	木曜日 木曜日	4校時 4校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>平易なドイツ語で書かれた5篇の物語（2冊の教科書を使用）を読む。前期は、初級文法の確認と練習問題をかねたテキスト、簡単な内容の推理物語3篇をとりあげる。後期は、19世紀末の作家ショルツの2篇の短編小説を読む。</p> <p>これらは推理を働かせたり、心理的なものに目を向けながら読んでゆくものなので、正確な読みと注意深さが要求される。ドイツ語文法の理解や文の読解の力をつけるのに役立つだろう。</p> <p>教科書には文法の詳しい説明や単語についての注もある。それらを参考にすると、自分でも辞書を引きながらどんどん読んでゆくことができる。</p> <p>教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。</p> <p>テープを聞いて単語の発音やドイツ語文章の朗読の練習もおこなう。</p>								
テキスト、教材等								
テキストは2冊使用する。		『推理の小箱』 『警告』			若槻かつ 淵田一雄	他編 他編	白水社 行人社	
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
2E8~10	定期試験（約90%）および平素の学習成績、授業への参加状況等（約10%）を考慮して評価する。							
授業計画								
<p><b>前期</b></p> <p>第一回～第三回 6～10頁 重要動詞の三基本形など</p> <p>第四回から第十回 11～23頁 接続法など</p> <p>第十一回～第十五回 24～36頁 代名詞の用法など</p> <p><b>後期</b></p> <p>第一回～第十五回 まず「警告」を読んでゆき（1～13頁）、そのあと「Das Bild」を読む（14～25頁）、 現在完了、関係代名詞、代名詞の用法などに焦点をあてる。</p>								